

第158回 仏教公開講座

年間テーマ

生きるって ということ

サブテーマ（教区テーマ）

まなこ こころ
『眼をひらく 心をひらく』

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時	2017年8月20日（日）午後6時半より		
講 師	太田 浩史 氏（高岡教区 大福寺住職）		
講 題	真宗と災害		
日 程	午後6時30分	真宗宗歌・正信偈（同朋奉讃式）	
	6時45分	講 義	
	8時15分	質問の時間	
	8時30分	恩徳讃	

講師紹介 1955年富山県生まれ。大谷大学日本仏教史コース専攻。真宗大谷派大福寺住職。真宗大谷派高岡教区教化本部長。日本民藝協会常任理事。となみ民藝協会会長。真宗史を民衆目線で語ることにより、地域の土徳づくり貢献したいと念願。

先生からのメッセージ

地震と水害という大規模災害は日本列島に住むことのあかしです。おまけに温暖化という人災が天災を助長し、原発事故や戦争・テロなど大規模人災リスクも高まっています。真宗門徒の信仰は大規模災害とどう向き合い、どのように復興を果たしてきたか。今を生きるためにその歴史に学びたいと思います。

いつでも・どこからでも聞ける「テレホン法話」、お電話ください。TEL058-265-0033

